

びなウェル及び未病センター運營業務委託仕様書（健康増進事業の企画、運営等）

1 目的

びなウェル及び未病センター運營業務委託（健康増進事業の企画、運営等）は、「健康増進法」や「えびな たのしく健康づくり方針」、「えびな おいしく健康づくり方針」、「かながわ未病改善宣言」に基づき、健康増進事業を展開し、市民の生活習慣病予防及び健康増進の推進を図るとともに、自殺対策基本法及び海老名市自殺対策計画（第2期）に基づき、こころの健康づくりを図ることを目的とする。

2 業務履行場所

- (1) 海老名市めぐみ町3番1号 ViNA GARDENS PERCH 6階 601-3区画
- (2) 海老名市内において教室、講座、相談等の開催等が可能な施設等

3 業務の履行期間及び実施日時

業務履行期間	令和7年4月1日から令和10年3月31日まで
業務実施日時	びなウェル及び未病センター運營業務委託仕様書（全体共通事項）1（4）に定める業務実施日時のとおり ※予約制の教室、講座、相談等の業務実施日時については、当該日時に縛られず、教室等の開催等が可能な施設等の状況や内容により好ましい日時を設定することができるものとする。

4 対象者

原則として18歳から64歳までの市民とする。ただし、17歳以下及び65歳以上の市民についても柔軟に対応するものとする。

5 委託業務内容

- (1) 601-3区画における健康増進事業の企画、運営等

市民と健康・医療をつなぐコンシェルジュ機能、各種健康増進事業の拠点機能を持つ健康増進事業の企画、運営等を行う。なお、当該企画、運営等については、本仕様書、その他仕様書における健康増進等の教室、講座、相談等、各種受付等の業務を含め、市民にとって効率的かつ効果的な業務の企画、運営等を行うものとする。

(2) 健康増進事業の企画、運営等

ア 市民の健康増進を推進するため、次に掲げるテーマにおいて、教室、講座、相談等の開催等の企画、運営等を行う。

(ア) 健康に関すること。

(イ) 未病改善に関すること。

(ウ) 食育に関すること。

(エ) 栄養に関すること。

(オ) 医療に関すること。

(カ) 薬に関すること。

(キ) 疾病に関すること。

(ク) メンタルヘルスに関すること。

(ケ) 自殺対策（ゲートキーパーの養成等）に関すること。

(コ) 前記(ア)から(ケ)までに掲げるもののほか、市民の健康増進の推進に関するテーマに関すること。

イ 相談業務

(ア) 相談業務については、電話、窓口、インターネット等において随時及び予約により受け付けられるものを企画し、運営等を行う。

(イ) 随時相談については、相談者の訴えを十分に聴取した上で、相談に対する回答が相談者に理解できるよう具体的に伝えるものとし、必要に応じて継続的な相談によるサポートや、市内医療機関をはじめとした案内等及び相談内容改善のための教室、講座、専門的な相談への参加等の提案を行う。

(ウ) 海老名市（以下「市」という。）が委託する「24時間健康相談ダイヤル」との連携等に努めるものとする。

ウ 教室、講座、相談等の企画内容等及び回数

(ア) 予約制の教室、講座、相談等の企画内容等については、市保健師・管理栄養士に立案し、協議の上、運営等を行う。

(イ) 予約制の教室、講座等は月2回以上、予約制の相談は月6回以上の企画、運営等を行うものとする。ただし、総合的な実施回数については、協議の上、増減することができるものとする。

(3) 健康増進事業の周知

健康増進事業の周知に当たっては、市民に広く周知を図るものとする。特に予約制の教室、講座、相談等の開催等に当たっては、ターゲットとする年齢の市民の参加意欲をかき立てるなど創意工夫に努める。なお、市の広報媒体、連携協定締結団体、三師会等と連携して周知する場合は、協議の上、決定する。

6 業務従事者・配置等

- (1) 予約制の教室、講座、相談等の開催に当たっては、受託者の責任において1回当たり2人以上の業務従事者を配置するものとし、保健師、看護師、薬剤師、管理栄養士、健康運動指導士、臨床心理士等で成人の健康促進等において必要な有資格者を1人以上配置するものとする。ただし、教室等の内容により資格を有する必要がなく、指導経験等を有するものについては、協議の上、配置できるものとする。
- (2) 随時相談においては、1日当たり1人以上の保健師、看護師等の有資格者を主として配置するものとする。
- (3) 各種教室、講座、相談等の開催に当たっては、必要に応じて託児できる環境を整備するとともに、託児の人数や年齢に応じて必要と考えられる人員を確保するものとする。

7 提出書類

受託者は、速やかに次に掲げる書類を提出しなければならない。なお、業務従事者に変更があったときは、その都度、委託者に報告しなければならない。

- (1) 実施報告書（全体共通事項に基づく）
- (2) 月間スケジュール表（実施月2か月前まで）
- (3) 業務従事者名簿（氏名・資格等）及び配置表（実施月の前月末まで）
- (4) 企画表（教室、講座、相談等）
- (5) その他必要とされる書類

8 事故及び損害の負担

- (1) 本事業の実施に伴い、市民等との間でトラブルが発生した場合は、その原因が受託者側にある場合は、受託者が責任を持って適切に当該トラブルの処理を行う。
- (2) 苦情等に対応する担当者を置き、クレーム発生時においては誠意を持って対応し、受託者の責により相談者等に損害が生じた場合は、その責任の範囲に応じて賠償する。
- (3) 事業実施中における参加者本人の事故については、全国市長会市民総合賠償保障保険に基づき対応する。

9 参考

びなウエルで実施している健康増進事業の教室、講座、相談等の一例

教室、講座、相談等	概要
健康講座	<p>1 コマ20人～30人程度、1 コマ1～2 時間程度</p> <p>①講師：医師 内容：こころとストレス</p> <p>②講師：健康運動指導士 内容：疲れリセットストレッチ</p> <p>③講師：理学療法士 内容：食事と運動で予防する！生活習慣病予防講座</p> <p>④講師：医師 内容：骨盤底筋トレーニングで、健康生活を。</p>
健康相談	<p>事前予約制で各種相談を専門職が対応 特定の相談日以外でも常駐の看護師が対応</p> <p>①健康相談 (看護師) ②運動相談 (健康運動指導士) ③口の健康相談 (歯科衛生士) ④栄養相談 (管理栄養士) ⑤飲み合わせ・漢方の相談 (薬剤師) ⑥こころの相談 (公認心理士等)</p>
ゲートキーパー養成講座	<p>年2回、1回30人～40人程度、1回2時間程度</p> <p>精神科医、公認心理師・臨床心理士を講師に招き、自殺問題を考えるきっかけづくりとしてゲートキーパー養成講座を開催し、自殺予防に関する正しい知識を持ったゲートキーパーを養成することで自殺対策の推進を図る。</p>